

神への参拝道。

工学部都市工学科

浦江望於

工学部都市工学科

時丸耕太

○工学系研究科都市工学専攻 福田峻

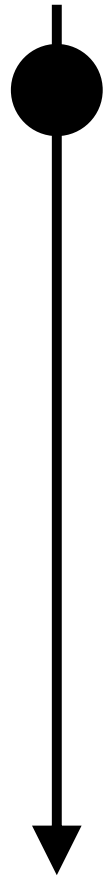




コンセプト

信仰の道を辿る

提言



コンセプト

信仰の道を辿る

提言





上市

滑川

立山道

上市

立山



滑川

立山道

上市



立山



人

滑川

立山道

上市

立山

神

人

滑川

上市川

立山道

上市

立山

神

人

上市

神

人に
↓
市
↓
神

神に相對する前に心身を
浄化し、
新たな自己を発見する旅。

暮らしを通じた
神との対峙

神を前にした
上市独自の生活様式

例えば...

- ・参詣時に立ち寄る
人で栄えた市街地
- ・独自の食べ物

水を通じた
神との対峙

古来信仰の媒で
あった水に触れる

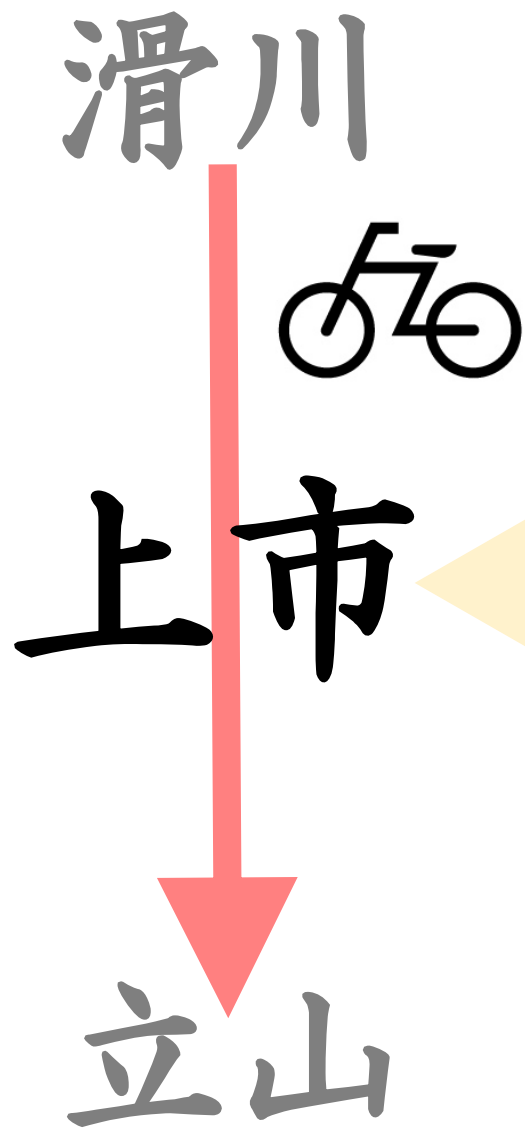
例えば...

- ・穴の谷の霊水
- ・日石寺での滝行

コンセプト

● 信仰の道を辿る

提言



滑川から立山に向かう途中、
上市で24時間を過ごす。
自転車で移動する、
密度の高い地域体験。

Day 1

ターゲット

街歩きや地域の歴史、自然・人文地理に興味のある人々、自転車上級者

→少数だが持続可能

Day 2

季節

夏

宿泊

稗田地区での民泊



暮らしを通じた
神との対峙

水を通じた
神との対峙

Day 1

↓滑川から

1.中心市街地

2.穴の谷

3.味蔵

4.パル

5.アルプスの湯

6.稗田地区

Day 2

7.城山の湧水

8.大岩山日石寺

9.千巖溪

10.花の家

↓雄山神社・岩嶺寺へ

町内図



0 500 1000 2000 (m)



海への展望

- 1. 中心市街地
- 2. 穴の谷
- 3. 味蔵

- 4. パル
- 5. アルプスの湯

6. 稗田地区

- 7. 城山の湧水

大岩街道

立山道

- 8. 大岩山日石寺
- 9. 千巖溪
- 10. 花の家

劔岳

雄山神社

Day 1

10:00

1.中心市街地散策・昼食

賑わうまちに
思いをはせる

市街地で
感じられる水

遊郭跡

暗渠/井戸/用水

理容室

川

街道

昔の川幅

昔の駅

市姫神社

Day 1
10:00

1.中心市街地散策・昼食

立山・大岩一神への入り口のまち



遊郭跡

参詣者や街道を行きかう人々で賑わった町は、遊郭の跡で面影を残す。

理容室

理容室の多い一角は遊郭の近くにあった当時の生活の名残をとどめる

街道

街道の多くは昔の道幅のまま。豊かな街の暮らしを伝える建物が並ぶ

昔の駅

かつての町の核であった駅の名残を感じる



Day 1
10:00

1.中心市街地散策・昼食

山から齎される水

街中のあちこちで地下水の存在が感じられる。蛇口の水さえ地下水を活用するほど暮らしと湧水の密な関係を楽しむことができる

市街地を抱く山を背に地元の方が釣りを楽しむ。透き通る川には昔と同じ鮎が暮らす

ダム以前の川底は人々の憩いの場となり、パークゴルフを楽しむ人々が。

市を守る神様は水の神。

暗渠
井戸
用水

川

昔の川幅

市姫神社



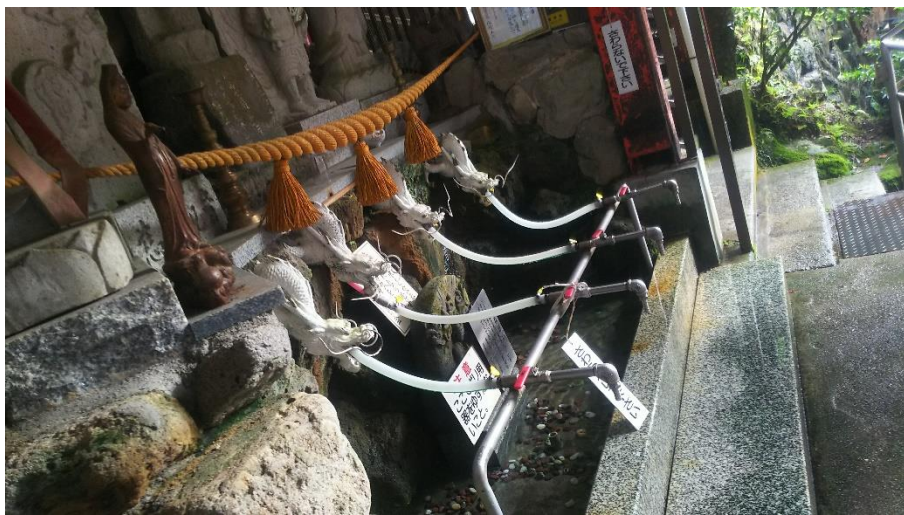
Day 1

13:00

🚲 ↓30分

2.穴の谷霊水

澄んだ水と積み重ねた信仰



万病に効くという言い伝えの真偽は定かではないが、中々腐らない澄んだ水だ。古くから神と人の仲立ちをしてきた水を、厳かな空間の中五感で楽しむ。人々が費用を拠出して建てられた祠の群れに過去から未来へ続く信仰の蓄積を感じる。

Day 1

15:30

🚲 ↓20分

3.味蔵 水の恵みを味わう



地域の野菜や卵など素材を活かしたアイスクリームでひと休み。
茶豆やなす、みょうがなど店頭に並ぶ夏らしい野菜の一つ一つ、生産者の顔や名前を知ることができる。茶豆の堆肥に牛糞が活用されているが、街のそばで実際に牛舎を目にすることも。
作り手のストーリーに温もりを感じつつ、みずみずしい野菜に舌鼓を打つことができるのはこの町ならではの体験。

Day 1

17:30

🚲 ↓20分

山と海とのつながりに触れる



背後の山々と広野付近から見通す海を通じて、劔岳から大和海の水を通した繋がりをを感じる。先ほど訪れた上市川の河川敷を自転車で走るのも心地よい。駅に自転車を返却したのち、街を歩けば、楽しげな声が漏れるお店がちらほら。古くから愛される老舗もあれば、工夫を凝らした料理を提供する新しいお店も。美味しい匂いに誘われて吸い込まれずにはられない。

Day 1

18:30

🚲 ↓10分

4. パル

暮らしに息づく品々



街中のショッピングセンターで買い出し。霊水の名前を冠した醤油、雪国ならではの味噌が並んでいる。
地元のとれたてが豊富な魚介コーナーでは、聞きなれない魚の数々を目にすることができる。

Day 1

19:00



5. アルプスの湯

温泉で地域の 心に触れる

町の人々が集う温泉「アルプスの湯」に入る。
地元の利用者との触れ合いや方言を楽しみつつ、一日の疲れを癒す。

20:00



6. 稗田地区

他にはない濃密な夜

信仰の道であった立山道を通り、稗田地区にある民家に宿泊。ホストとの話は尽きず夜は更ける。

Day 2

9:00

朝食

ここでは普通、自分には新鮮

前日にショッピングセンターで買っておいた刺身や惣菜を食べよう。朝から地ものを安く食べられるのは嬉しい。

10:00

🚲 ↓20分

7.城山の湧水

暮らしに息づく湧水



雄山神社でこの地に根付く立山信仰に触れつつ、立山道から分岐して大岩道に入り、城山の湧水へ。綺麗で美味しい天然水を味わい、日常的に汲みにきている人々の存在に、人と水とのつながりを感じる。併設のおしゃれなカフェでは水を利用したコーヒーに舌鼓。

Day 2

11:00

🚲 ↓20分

8.日石寺 暮らしのすぐそばにある信仰



1000人以上が暮らした修験道の中心の一つ。磨崖仏の近くや十二支の滝で遊ぶ子供を見て、生活に密着したお寺で神のパワーを感じる。滝行を通して神に近づいた後は名物素麺を頂く。薄味の出汁が水の美味しさを感じさせる。富山の名水である日石寺境内の「大岩の藤水」と同じ水源の地下水だという。

Day 2

12:30



9.千巖溪

目の前に轟く瀑布



名前の通り数限りなく連なる滝で飛沫を浴び、じかに水に触れる。かつての修行の様子に想いを馳せるのもよからう。周囲の森林の中を歩くことで心が洗われる思いだ。

Day 2

12:30



↓ 20分

10.花の家 想像力を刺激する家



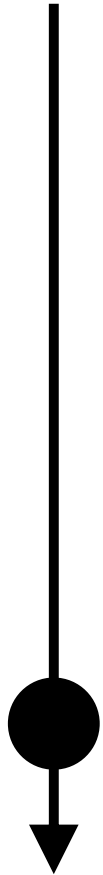
駅いい映画『おおかみこどもの雨と雪』の舞台花の家へ。杉林に囲まれてどっしりと構える築140年の家は自然の中での暮らしの厳しさと豊かさを思わせる。NPOの方が出迎えてくださり、この家が地域の方々と私たち観光客を結びつけてくれる。称名滝など立山の話もあり、これからの旅に思いが募る

↓立山道に抜けて(6kmくらい)立山を目指す

コンセプト

信仰の道を辿る

提言



A. レンタサイクルのネットワーク

B. まちなか・周辺での民泊

C. 中心市街地の機能の強化

A. レンタサイクルのネットワーク

立山をめざす信仰の道沿いの鉄道駅にレンタサイクルのポート（乗り捨て可能）を複数設置。



大岩方面への坂を登れるようマウンテンバイクも配置

B. まちなか・周辺での民泊

大岩以外での宿泊施設が不足

→民泊により小規模に提供し、持続可能な観光を実現



食事／入浴を
まちなかで分
散して提供
・地域の暮ら
しを深く体験
・貸し手側の
負担を軽減

C.中心市街地の機能の強化

町の人々の暮らしが最も見える場所として、訪れた人のゲートウェイとして、もっと可能性があるはず。

① 中心市街地での物産の販売

- ・ 味蔵は自動車以外でのアクセスに難がある
- ・ 鉄道等で立ち寄った人も産品に触れられるように

C.中心市街地の機能の強化

町の人々の暮らしが最も見える場所として、訪れた人のゲートウェイとして、もっと可能性があるはず。

① 中心市街地での物産の販売

- ・ 味蔵は自動車以外でのアクセスに難がある
- ・ 鉄道等で立ち寄った人も産品に触れられるように

② 歴史・昔の姿についての情報提供

- ・ まちを歩いた時に解釈を支援する情報が必要
- ・ 地図の配布や看板等で十分に効果

C.中心市街地の機能の強化

町の人々の暮らしが最も見える場所として、訪れた人のゲートウェイとして、もっと可能性があるはず。

① 中心市街地での物産の販売

- ・ 味蔵は自動車以外でのアクセスに難がある
- ・ 鉄道等で立ち寄った人も産品に触れられるように

② 歴史・昔の姿についての情報提供

- ・ まちを歩いた時に解釈を支援する情報が必要
- ・ 地図の配布や看板等で十分に効果

③ 地下水に触れられる設備の整備

- ・ 地下に潤沢な水が存在するが現状では気づかない
- ・ 掘った水が湧いていて飲めると嬉しい



滑川



生地

C.中心市街地の機能の強化

町の人々の暮らしが最も見える場所として、訪れた人のゲートウェイとして、もっと可能性があるはず。

① 中心市街地での物産の販売

- ・ 味蔵は自動車以外でのアクセスに難がある
- ・ 鉄道等で立ち寄った人も産品に触れられるように

② 歴史・昔の姿についての情報提供

- ・ まちを歩いた時に解釈を支援する情報が必要
- ・ 地図の配布や看板等で十分に効果

③ 地下水に触れられる設備の整備

- ・ 地下に潤沢な水が存在するが現状では気づかない
- ・ 掘った水が湧いていて飲めると嬉しい